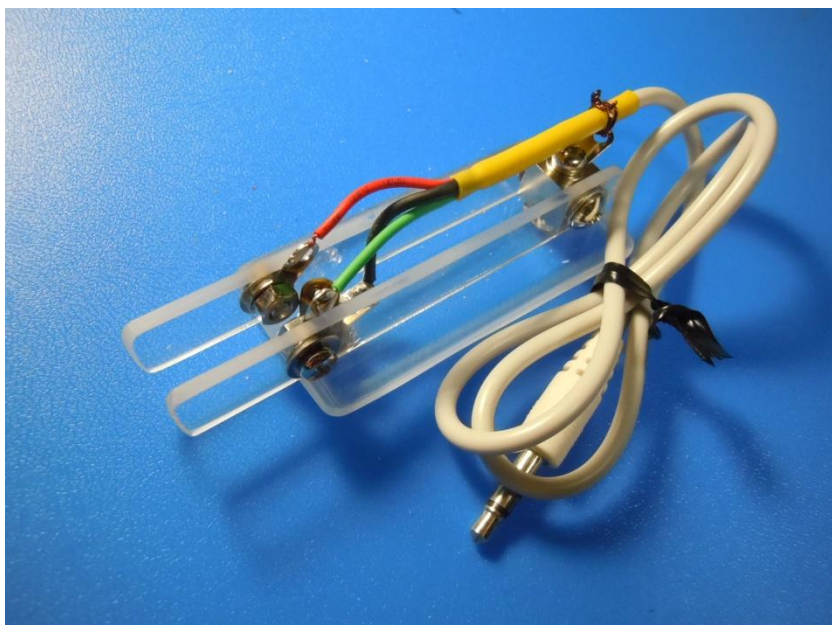


アクリル板を使った簡易パドル



市販されているパドルは大変高価である。金属を削りだし、しっかりした機構で飾っておきたくなるような美しさがある。

しかし、機能という点で考えると、パドルは2つのスイッチであり、それをリズムカルに操作できればよい。スイッチとして接触抵抗の少ない金属を使うなど対応があれば、動作の確実性は増すが、普通のビスなどで構成したスイッチでもそれなりの動作は得られる。

また、タイミングよく操作できるように多くのパドルではバネやマグネットなどを使って動作部分を作り、操作フィーリングを高めている。しかし、スイッチとしての機能

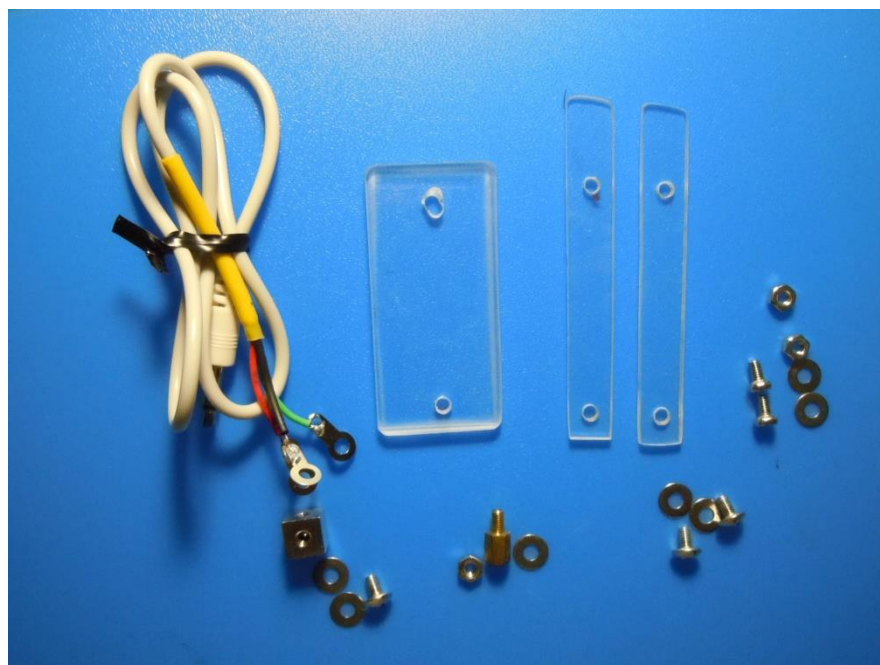
のみに着目すれば、指で押さなければ接点が開くような弾性を持ったもので対処できる。

そこで、アクリル板を使ったパドルを作った。実際の交信で使用しているが、モールス符号を送出することに特に困るということはない。軽量、コンパクト、そして安価なパドルである。

使用する主な部品は、写真のように数少ない。操作部のアクリル板は1.5mmや2.0mmの厚さのもので10mm幅で80mm位の長さで適度な弾性が得られた。これを固定するには「垂直基板取り付け用ブロック」と呼ばれるキューブ状スペーサーを用いている。

基台部分は使い方に応じて如何様にも作ることが出来る。大きく作れば机に固定すれば据え置きのパドルになる。小さく作れば片手で握って操作するパドルになる。

接点の調整をするために、操作部を固定するキューブ状スペーサーを留める基台の穴を長円形にしている。この固定位置を前後に動かすことで接点の間隔を調整し、タイミングよく打鍵ができる位置を見出す。



アマチュア無線は交信することも楽しいが、自作する楽しみも大きい。材料さえそろえば小一時間で完成させることのできる手軽な工作でパドルを作り、交信を楽しむのも一興だと思う。

その他の製作例 : XRQ TechLab http://jalxrq.g.dgdg.jp/otegaruru_paddle/otegaruru_paddole.html

このパドルの機構をアクリルチューブの中に収納すると気軽に持ち運びができる。(上記サイトに写真あり)